

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立大沢台小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	2	3
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	5	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	大沢2-6-18									
事業所等の延床面積	6,168.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分		□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)									
	□ 工場 □ 複合施設 ■ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店		■ 非該当	
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)	③	67	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	130	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	8	t
総計(④=②+③)	④	138	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	⑦	21.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
都市ガス	☐	Nm ³	23,567.0	45.00	1,060.5	0.014	52.9
その他(灯油)	☐	L	126.0	36.70	4.6	0.019	0.3
その他(ガソリン)	☐	L	7.7	34.60	0.3	0.018	0.0
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	158,248.0	9.76	1,544.5	0.489
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489
合 計					2,609.9		130.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	11,814.0		0.251	3.0
	公共下水道	☐	m ³	11,814.0		0.439	5.2
合 計							8.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	
		CB04	採光を利用した消灯の実施	
	設備保守対策			
	設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☐ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

--

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立高山小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	4	1
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	2	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地以下	牟礼4-6-12									
事業所等の延床面積	9,166.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	166	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	322	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	328	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	35.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
都市ガス	☐	Nm ³	59,609.7	45.00	2,682.4	0.014	133.8	
その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
その他(ガソリン)	☐	L	0.0	34.60	0.0	0.018	0.0	
その他()	☐		0.0					
その他()	☐		0.0					
電気	一般送配電事業等の電線路を介して供給された電気 昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	夜間(23時~翌8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	386,531.0	9.76	3,772.5	0.489	189.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑬	0.0	9.76	⑭	0.489	⑮
合 計					⑯		⑰	322.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,905.0			0.251	2.5
	公共下水道	☐	m ³	9,905.0			0.439	4.3
合 計							⑱	6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
			A208	組織横断的な推進体制の整備	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運 用 対 策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB37	4S(整理・整頓等)の実施	CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立南浦小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	2	2
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	3	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地以下	下連雀9-9-1									
事業所等の延床面積	7,177.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	④	77	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	149	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	8	t
総計(④=②+③)	④	157	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	20.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量 (GJ) ⑦=⑤/1000×⑧	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑤×⑨×44/12
都市ガス	☐	Nm ³	32,087.1	45.00	1,443.9	0.014	72.0
その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
その他(ガソリン)	☐	L	0.0	34.60	0.0	0.018	0.0
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電路等を通じて供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐ kWh	158,944.0	9.76	1,551.3	0.489
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}	kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.489
合 計					⑬ 2,995.2		⑭ 149.7
水道及び工業用水道	☐	m ³	12,787.0			0.251	3.2
公共下水道	☐	m ³	12,787.0			0.439	5.6
合 計							⑮ 8.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑤/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
	設備保守対策				
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立中原小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	1	9
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	5	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	中原2-12-13									
事業所等の延床面積	6,410.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)	①	70	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	135	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	142	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	21.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1}
都市ガス	☐	Nm ³	24,947.4	45.00	1,122.6	0.014	56.0
その他(灯油)	☐	L	90.0	36.70	3.3	0.019	0.2
その他(ガソリン)	☐	L	0.0	34.60	0.0	0.018	0.0
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	162,911.0	9.76	1,590.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0
合計					2,715.9		135.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	10,222.0		0.251	2.6
	公共下水道	☐	m ³	10,222.0		0.439	4.5
合計							7.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB08	温度計等による室温の把握と調整	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB09	空室・不在時等の空調停止	
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB12	季節に応じた外気導入量の適正化	
				CB13	中間期における外気冷房の実施	
	設備保守対策			CB14	冷風と温風の混合損失の防止	
				CB41	湿度度の適正管理	
				CB42	工程や作業用途に応じた風量管理	
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃	
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検	
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

--

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立北野小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	2	1
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	3	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	北野3-1-5									
事業所等の延床面積	6,072.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年未満					
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=②×0.0258)	②	67	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	③	131	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=④)	④	8	t
総計(④=③+④)	⑤	139	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑥	21.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量(t)
都市ガス	□	Nm ³	28,814.0	45.00	1,296.6	0.014	64.7
その他(灯油)	□	L	36.0	36.70	1.3	0.019	0.1
その他(ガソリン)	□	L	40.0	34.60	1.4	0.018	0.1
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	□ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時~翌日8時)	□ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□ kWh	136,322.0	9.76	1,330.5	0.489	66.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値**2		kWh	⑫	0.0	9.76	0.0	0.489
合 計					⑬	2,629.8	⑭
その他	水道及び工業用水道	□ m ³	12,234.0			0.251	3.1
	公共下水道	□ m ³	12,234.0			0.439	5.4
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
				A207	排出状況の整理・分析・提供	
				A208	組織横断的な推進体制の整備	
エネルギー等の 使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
			C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
			C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
			C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
			CB27	営業前後の客室不要空調の停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
			CB37	4S(整理・整頓等)の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策				CB05	昼休み時の消灯の実施
					CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
					CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
			D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立井口小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	2	0
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	1	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	4,794.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満						
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点	無									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	74	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	144	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	151	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	30.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1}
都市ガス	☐	Nm ³	29,643.4	45.00	1,334.0	0.014	66.5
その他(灯油)	☐	L	40.0	36.70	1.5	0.019	0.1
その他(ガソリン)	☐	L	0.0	34.60	0.0	0.018	0.0
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	159,575.0	9.76	1,557.5
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0
合計					2,892.9		144.7
水道及び工業用水道	☐	m ³	10,875.0			0.251	2.7
公共下水道	☐	m ³	10,875.0			0.439	4.8
合計							7.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置		
	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の使用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	
設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

特になし

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立東台小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	7	3
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	7	3	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	中原2-17-37									
事業所等の延床面積	6,511.07		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)	①	80	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=①)	②	156	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=②)	③	5	t
総計(④=②+③)	④	161	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=④×1000/事業所等の延床面積)	⑤	23.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	9,816.4	45.00	441.7	0.014	22.0
その他(灯油)	☐	L	54.0	36.70	2.0	0.019	0.1
その他(ガソリン)	☐	L	20.0	34.60	0.7	0.018	0.0
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	274,805.0	9.76	2,682.1
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0
合 計					3,126.5		156.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	7,831.0		0.251	2.0
	公共下水道	☐	m ³	7,831.0		0.439	3.4
合 計							5.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑤/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB37	4S(整理・整頓等)の実施	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立羽沢小学校									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	4	0
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	5	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	大沢4-9-1									
事業所等の延床面積	5,692.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	63	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	122	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	125	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	21.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	19,675.3	45.00	885.4	0.014	44.2
その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
その他(ガソリン)	☐	L	0.0	34.60	0.0	0.018	0.0
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	160,750.0	9.76	1,568.9
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0
合 計					2,454.3		122.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,579.0		0.251	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,579.0		0.439	2.4
合 計							3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×③とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×③とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	湿度の適正管理
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
			CB12	季節に応じた外気導入量の適正化	
			CB45	外気量の適正化	
			CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)